

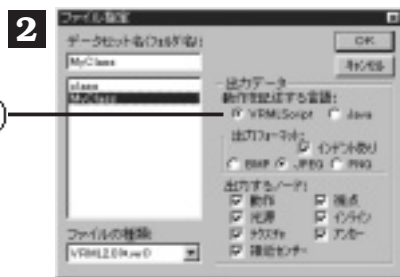


READ Me



ネットワークから最新のソフトウェアをダウンロードできることは、インターネットの大きな魅力の1つです。このコーナー「READ Me」では、ネットワークから入手できる最新のソフトウェアに焦点をあてて、必ず役に立つ情報満載でお届けします。まずは今月の注目ソフトから。

インターネットが
ますます楽しくなる
ソフトウェア
5選



② 出力ファイルの細かい設定が可能だ

HOTTEST TOOLS

今月の注目ソフト



Win

1

【バイアールエルメーカー】

VRML Maker Ver.1.0

VRML MakerはVRML2.0に対応したホームページ用3Dコンテンツ作成ツールだ。あらかじめ数多くのパーツが収録されているので、初めての人でも簡単にVRMLを使った3D空間を作成することができる。あなたもVRMLを使ったホームページを作ってみよう。



① VRML Makerメイン画面。中央のウィンドウへのドラッグアンドドロップですべて操作できる簡単操作だ

VRMLを楽しむには

VRML(Virtual Reality Modeling Language)とはウェブ上で3D空間を作成するための記述言語だ。ネットスケープコミュニケーター4.0にはVRMLを表示するためのシリコングラフィックス社のコスモプレイヤープラグインが初めからインストールされているので、VRMLを使ったホームページにアクセスするだけで3D空間を楽しめる。インターネットエクスプローラユーザーはシリコングラフィックス社のホームページ(<http://www.sgi.co.jp/Products/cosmo/cosmoplayer/>)からコスモプレイヤーをダウンロードしよう。

ドラッグアンドドロップ するだけの簡単操作

VRML Makerにはあらかじめさまざまな背景が用意されている。背景を選び、中央に表示される作成ウィンドウに机やイス、木など数

多く用意されているパーツを①から選んでドラッグアンドドロップで配置するするだけで簡単に3D空間を作成できる。また、床や壁などにテクスチャーを張り付けたり色を変えたりするのもドラッグアンドドロップするだけで、3D空間を作成するうえで一番難しいのがそれぞれのパーツの配置だ。机やイスを配置してみると分かるが、パーツを単に配置しただけでは空中に浮いたように見えてしまうことがある。VRML Makerでは重力ボタン②が付いているので、この機能をオンにしておけば、床や物体の上に沿ってしか配置できなくなるため、違和感なくパーツを配置できる。

動きのあるVRMLファイルが 作れる

ドアや窓などのパーツには開け閉めなどの動作がすでに設定されているので、クリックするとドアや窓が開くVRMLファイルが作成できる。

動作環境

OS: ウィンドウズ95
種別: シェアウェア3,000円



配布元: 株式会社東洋情報システム
CD-ROM収録先: Win Vrlmmake
入手先: <http://www.tis.co.jp/product/cyber/>

また、個々のパーツに他のURLへのリンクが設定できるので、クリックすると他のホームページにジャンプするようなVRMLも作成可能だ。作成したデータは③のボタンをクリックするとVRMLファイルに書き出せる。このとき、記述言語にJavaとVRMLスクリプトのどちらを使うかなど、出力ファイルの細かい設定が可能だ。(画面②③)

なお、オリジナルのパーツを作成するには「CyberWalker」や「3Dマイホームデザイナー」といったソフトウェアを利用しなければならない。

HOTTEST TOOLS

今月の注目ソフト

2

[ウェブフォン]

WebPhone

WebPhoneは携帯電話のインターフェイスを採用したチャットやメッセージを送信できるコミュニケーションソフトだ。本物の携帯電話のように好きな機種を選べるのも面白い。このちょっと変わったコミュニケーションソフトを使ってみよう。

まずは番号を登録しよう

WebPhoneを利用するにはWebPhone番号の登録が必要だ。番号は自分の好きな10桁の番号が利用できる。ただし、すでに他の人が利用している番号は取得できない。番号の取得は早い者勝ちなので、早速ホームページ (<http://wp.ido.co.jp/>) にアクセスして覚えやすい番号を登録しよう(画面1)。番号を登録したらWebPhoneを起動してみよう。初めて起動すると画面2が表示される。先ほど登録したWebPhone番号と発行されたキー番号、パスワードを順に入力しよう。間違いなく入力すると携帯電話の画面が表示される(画面3)。

動作環境

OS: ウィンドウズ95
種別: 無償配布

使い方は携帯電話と同じ

操作方法は携帯電話と同じだ。数字ボタンをマウスでクリックして10桁のWebPhone番号を入力し、最後に1の通話ボタンを押すだけだ。すると、呼び出し音が鳴り、通信したい相手がWebPhoneを起動していれば、チャットウィンドウが表示されるので、1に文字を入力して会話をしよう(画面4)。もし、相手がWebPhoneを起動していなければ留守番電話サービスとなり、サーバーにメッセ

ージを残すことができる。サーバーに残したメッセージは、次回に相手がWebPhoneを起動したときに表示される。

WebPhoneを起動している通話相手はIDOのホームページ内の<http://wp.ido.co.jp/book.html>に掲載されている。あなたも番号とプロフィールを公開すれば、呼び出しがかかるかもしれないぞ。



配布元: 日本移动通信株式会社、
凸版印刷株式会社
CD-ROM収録先: [Win] Webphone
入手先: <http://wp.ido.co.jp/>

1



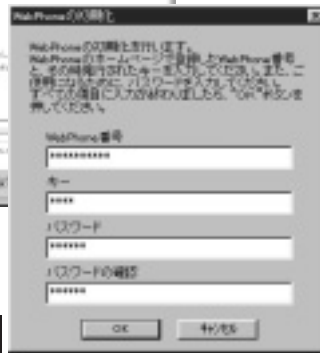
4



3



2



HOTTEST TOOLS

今月の注目ソフト

3

[バトルきたへい]

バトル棋太平

棋太平と聞くと古くからのパソコンユーザーは「懐かしい」と思う人も多いのではないだろうか。棋太平は今から13年前にコンピュータ対局将棋ソフトとして発売された老舗の将棋ソフトだ。あの棋太平がインターネット対局将棋になって帰ってきた!

動作環境

OS: ウィンドウズ95、NT4.0
種別: 無償配布



配布元: 株式会社エス・ピー・エス
CD-ROM収録先: [Win] Kitahei
入手先: <http://www.sps.co.jp/>



1

インターネットで対局できる!

バトル棋太平はインターネットで遠く離れた人とリアルタイムに将棋を打つことができるソフトだ。コンピュータとの対局では物足りなかった人もきっと満足できるはずだ。



2

2 対局中は駒の動きを音声で読み上げてくれる。さながらプロ棋士になった気分だ。

対戦相手を見つけよう

バトル棋太平を起動すると画面1が表示される。1にそのとき接続しているユーザーが表示されるので、相手のプロフィールを見ながら、対局相手を見つけよう。2のボタンを押すと、対局を申し込める。相手が挑戦を受け入れたら対局開始だ(画面2)。また、画面1の3ボタンを押すと、他の人が対局中の盤面を観戦することができる。



配布元：株式会社インプレス
CD-ROM収録先：ウィンドウズ版 Win TELETEXT
マッキントッシュ版 Mac TELETEXT
関連ページ：<http://tfm.impress.co.jp/>

動作環境
OS：マッキントッシュ、
ウィンドウズ3.1、95、NT
種別：無償配布



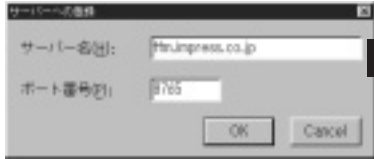
HOTTEST TOOLS

今月の注目ソフト
4

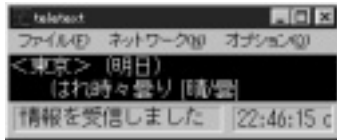
Win Mac

[インターネットテレテキスト]

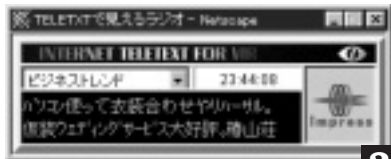
Internet TELETEXT Ver.0.70



1 サーバー名の登録だけの簡単設定だ。



2 Internet TELETEXTならばTOKYO FMの受信エリア外でも見えるラジオが楽しめる。



3 Java アプレット版 Internet TELETEXT

株式会社インプレスが開発した文字放送ソフト「Internet TELETEXT」が見えるラジオに対応した。「見えるラジオ」はTOKYO FMが提供しているFM放送電波のすきまを使ってデータを送信する文字放送システムだ。ラジオで受信するには専用の受信機が必要だが、Internet TELETEXTを使えばインターネットでどこからでも受信ができるぞ。

最新ニュースが盛りだくさん

Internet TELETEXTを起動したら、「ネットワーク」メニューの「サーバーの登録」を選択して、サーバー名に「tfm.impress.co.jp」、ポート番号に「8765」と入力しよう(画面1)。これでセットアップは完了だ。あとは「ネットワーク」メニューにチャンネルが表示されるので、見たいチャンネルを選択するだけだ。しばらくすると画面2のように文字情報が流れてくる。ビジネス情報や天気予報、生活情報、新製品情報な

どさまざまなジャンルがあるので好みのチャンネルを選ぼう。

Java アプレット版もあるぞ

ネットスケープコミュニケーターやインターネットエクスプローラなどJavaアプレット対応のWWWブラウザが起動中なら、Javaアプレット版のInternet TELETEXTを使おう。Javaアプレット版はホームページ(<http://tfm.impress.co.jp/>)にあるボタンをクリックするだけで起動する。

HOTTEST TOOLS

今月の注目ソフト
5



[クイックタイム3.0]

Quick Time 3.0 Developer Preview 日本語版

マッキントッシュではおなじみの「Quick Time」が機能を大幅に強化してバージョン3.0となった。今回のバージョンではウィンドウズ版とマッキントッシュ版のバージョンが統一され、両方のプラットフォームで同じように再生できる環境が整った。新しくなったクイックタイムを体験してみよう。

ストリーミング再生に対応

今回のバージョンでの一番の注目点は、インターネットへの対応が強化されたことだ。Quick Time 3.0に含まれるWWWブラウザ用プラグイン「Quick Time Plug-in 2.0」がストリーミング再生に対応した。これによりダウンロードの待ち時間なしでクリックするだけですぐに動画の再生が始まる。また、接続速度によって最適な動画を配信するので、それぞれの回線速度に合った最適な映像を楽しむことができる。配信側は特殊なサーバーを必要としないので、個人でもホームページにストリーミングコンテンツを簡単に作成できるのも特徴だ。また、Quick Timeムービーを

Mac Win



今回のバージョンからマッキントッシュ版(画面1)とウィンドウズ版(画面2)との機能の差がなくなり、どちらの環境でも同じように再生される。



動作環境

OS：マッキントッシュ、ウィンドウズ95、NT
種別：無償配布
配布元：アップルコンピュータ株式会社
関連ページ：<http://quicktime.apple.co.jp/>

WWWブラウザ内で表示するインライン表示も可能となった(画面1)。

さまざまなファイルフォーマットに対応

Quick Time 3.0では新たにAVI、WAV、BMP、TIFF、PNG、GIFアニメーションなどのファイルフォーマットに対応した。そのため、付属のムービープレイヤーでは20種類以上のファイルフォーマットを再生できるようになった。これだけ多くのファイルフォーマットに対応しているので、Quick Time 3.0をインストールしておけば「対応アプリケーションを持っていないので再生できない」といったこと

がなくなるだろう。

ソフトウェア音源を内蔵

Quick Time 3.0にはローランド社のMIDI音源モジュールであるサウンドキャンパスの音源セットを搭載している。これはGM規格に準拠した128種類の音源とGSフォーマットの100種類以上の音色がセットになったものだ。ソフトウェア音源を内蔵することによってMIDIデータの再現性がさらに向上した。なお、これまでマッキントッシュ版にのみ内蔵されていたソフトウェア音源だが、今回のバージョンからはウィンドウズ版にも内蔵されている。



Get Internet Tools!



おすすめのソフトウェア情報サイトを一挙紹介!

このコーナーでは、インターネットから入手できるソフトウェアの情報を集めているサイトを紹介し、ブックマークに登録して、自分で使っているツールのバージョンが最新のものかどうかをチェックしましょう。

総合

PON(Personal-ware On The Net)
<http://www.recruit.co.jp/npon/>



「PON」は株式会社リクルートが提供する個人向けの市販ソフトウェア検索サイトだ。キーワード検索やジャンル検索のほかに、価格帯による検索などができる。体験版のダウンロードやメーカーへの資料請求ができるので市販ソフトを購入前に試してみよう。

総合

Live! netn@vi Download Center
<http://netnavi.nikkeip.co.jp/top/download/top.html>



「Live! netn@vi Download Center」ではインターネットからダウンロードできる市販アプリケーションソフトの試用版や体験版を紹介している。市販ソフトを購入する前に、体験版をダウンロードして使い勝手を調べる場合に利用しよう。

Mac

新し物好きのダウンロード
<http://www.sainet.or.jp/~atsushi/new.html>



「新し物好きのダウンロード」はマッキントッシュのソフトウェアアップデート情報を毎日更新しているホームページだ。情報更新が非常に早いので、1日に1回はアクセスして自分の使っているソフトウェアがアップデートされているかどうかをチェックしてみよう。

総合

FTP Sites-HARRIS Mountaintop
<http://www.mtp.semi.harris.com/ftp.html>



「FTP Sites-HARRIS Semiconductor」では、MS-DOS、ウィンドウズ、マッキントッシュ、OS/2やX-Windowといった数多くのプラットフォームのウェブサイトやFTPサイトのリンクを提供しているサイトだ。コンピューターメーカーへのリンクも豊富で、アップデーターを入手するのに役に立つ。

Win

フリーソフト試してガッテン'98
<http://www.inh.co.jp/~kei/freesoft/freesoft.html>



「フリーソフト試してガッテン'98」はこのホームページの作者が実際に利用してみて「これはいい!」と感じたフリーソフトウェアだけを選んで紹介しているホームページだ。すべてのソフトウェアに解説文がついている点が嬉しい。

ソフトウェア情報募集!

投稿募集!

編集部では、日々新しいソフトウェアを探しています。注目ツール、面白いツール、便利なツールなどを発見したら、編集部までご連絡ください。また、CD-

ROMに収録されているツールがバージョンアップしているぞ! といった情報も大歓迎です。



ブラウザの最新動向をお伝えする

WWW Browser Hot Line



バージョンアップ情報
やバグ情報、新しいブ
ラウザの情報など、
次から次へと飛び込ん

でくるWWW ブラウザ関連の最新ニュースをまとめて紹介するのがWWW Browser Hot Lineのコーナーです。今月は、ネットスケープコミュニケーションズ社の「ネットスケープナビゲーター無償配布」の話題からお届けします。

WWW Browser Hot Line

ネットスケープ・コミュニケーションズ 社がWWWブラウザの無償配布を 開始



米ネットスケープ・コミュニケーションズ社および日本ネットスケープ・コミュニケーションズ株式会社はWWWブラウザの「ネットスケープナビゲーター」とインターネット統合クライアントソフトの「ネットスケープコミュニケーター」を無償配布すると発表した。



【CD-ROM収録先】 Win Netscape
配布元: ネットスケープ・コミュニケーションズ
株式会社
入手先: <http://home.netscape.com/ja/>

次期バージョンの ソースコード公開

同時に次期バージョンである「ネットスケープコミュニケーター5.0スタンダードエディション」のソースコードを無償で公開することも発表した。これは、ソースコードの変更と変更後の再配布も許可するというもので、これにより誰もがネットスケープコミュニケーターの開発に参加できるようになり、機能を追加したり、他のOSに移植したりすることができるようになる。なお、ネットスケープ社ではソースコードの配布方法は「GPL (GNU Public License) の方法を踏襲する」としており、実際のソースコードの公開やライセンス、配布方法などは3月31日に同社のホームページ上で発表される予定だ。

インターネットから ダウンロード可能

日本ネットスケープ・コミュニケーションズ株式会社は、従来90日間の期間限定試用版として公開されていたWWWブラウザ「ネッ

トスケープナビゲーター」とインターネット統合クライアントソフト「ネットスケープコミュニケータースタンダードエディション4.0」を無償配布すると発表した。すでに同社のホームページ (<http://home.netscape.com/>) からダウンロードが可能となっている。

なお、日本では販売代理店によるネットスケープコミュニケーターのパッケージ販売が今までどおり並行して続けられる。価格は従来通りオープンプライスとなる。ホームページで無償配布されるものとパッケージ販売されるものとの違いはサポートとマニュアルの有無だけとなる(パッケージによっては他メーカーの体験版ソフトウェアなどが付属する)。



ネットスケープ・コミュニケーションズ社の
プレスリリース
[http://home.netscape.com/ja/newsref/
pr/newsrelease558.html](http://home.netscape.com/ja/newsref/pr/newsrelease558.html)

本誌付録CD-ROMにも 収録

なお、雑誌などの付属CD-ROMに収録されるネットスケープコミュニケーター日本語版は従来どおり期間限定のものが提供される。これは引き続き販売されるパッケージ版の試用版という形で提供されるためだ。WWWブラウザのみのネットスケープナビゲーター4.04日本語版については制限なしの正式版がCD-ROMに収録される。もちろん、今月号のインターネットマガジン付録CD-ROMには制限なしのネットスケープナビゲーター日本語版が収録済みだ。



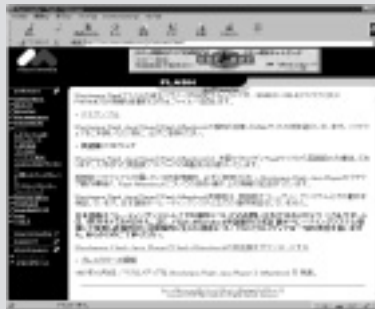
WWW Browser Hot Line

マクロメディア社がショックウェーブフラッシュJava プレイヤーを発表



マクロメディア社はショックウェーブフラッシュのデータをJava アプレットとして表示できる「ショックウェーブフラッシュJava プレイヤー」とHTMLを自動的に作成してくれる「フラッシュアフターショック」をリリースした。ショックウェーブフラッシュはデータ量の小さいインタラクティブなコンテンツが作成できるので数多くのサイトで利用されているが、プラグインを必要とするため、インストールしていないユーザーやプラグインの供給されていないUNIXユーザーはショックウェーブフラッシュを利用したサイトを見ることができなかった。今回発表されたショックウェーブフラッシュJava プレイヤーとフラッシュアフターショックを利用して作成されたサイトでは、それらのユ

ーザーでもJavaに対応したWWWブラウザを利用することによって、Java アプレットとしてショックウェーブフラッシュのコンテンツを楽しむことができる。



ショックウェーブフラッシュJavaプレイヤーのダウンロードページ
<http://www.macromedia.com/jp/software/flash/>

WWW Browser Hot Line

IE 4.0 に新たなセキュリティホール対策プログラムが配布される



マイクロソフト社はウィンドウズ版インターネットエクスプローラ4.0および4.01に新たに「MK Overrun」というセキュリティホールが見つかったとして、修正プログラムの配布を開始した。このセキュリティホールは「mk://」で始まる256文字以上のURLを用いることでローカルマシン上のプログラムを実行できるというものだ。IE4.01ユーザーはhttp://www.microsoft.com/ie_intl/ja/security/にアクセスして修正プログラムをダウンロードしよう。



WWW Browser Hot Line

ウィンドウズ3.1版インターネットエクスプローラ4.0英語正式版が登場



マイクロソフト社はウィンドウズ3.1版およびウィンドウズNT 3.51版のインターネットエクス

プローラ4.0英語正式版をリリースした。パッケージにはアウトLOOKエクスプレスやリアルプレイヤー4.0などが含まれている。ただし、現在のところダウンロードできるのは英語版のみであり、日本語版のウィンドウズ環境にはインストールできない。ウィンドウズ3.1版はチャンネルの表示、ダイナミックHTMLのサポート、購読などすでにリリースされている32ビット版とほぼ同じ機能を搭載している。なお、日本語版

はプレビューリリース2が現在公開されており、こちらも同社のホームページからダウンロード可能となっている。ただし、正式版ではないため、動作はまだ不安定であり、Java アプレットが正しく動作しないなど一部の機能は動作しない。日本語版はPC-9800シリーズ用とIBM PC/AT用の2種類があるのでダウンロードの際は注意が必要だ。



配布元：マイクロソフト社
<http://www.microsoft.com/ie/download/>



情報募集!

このコーナーでは、ネットスケープコミュニケーターやインターネットエクスプローラといったWWWブラウザに関する情報を募集しています。新しいプラグイン、便利なTIPS、裏技などの情報を、編集部まで送ってください。

宛先は、ip-cdrom@impress.co.jp



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp